

マニュアル

SpaceMouse® Pro Wireless

Bluetooth Edition



ドライバー: 3DxWare 10.8.15 バージョン以降

目次

クイックスタートガイド	3
デスクトップのセットアップ	3
手の位置	3
機能ガイド	4
3Dconnexion SpaceMouse Pro Wireless	4
3Dconnexion 設定	7
詳細設定	8
追加詳細設定	8
ボタン	10
ボタンへのクイックマクロの割り当て	10
フライアウトウィンドウを使ったコマンドの割り当て	11
マクロ及びラジアルメニューの作成	11
3Dconnexion Home	14
技術仕様	15
安全、コンプライアンスおよび保証情報	16

クイックスタートガイド

デスクトップのセットアップ

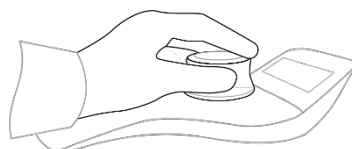


SpaceMouse Pro Wireless をキーボードに対して通常のマウスと逆側に配置します。

片手で 3D マウスを使用してモデルを位置調整、回転、パン、ズームを行います。

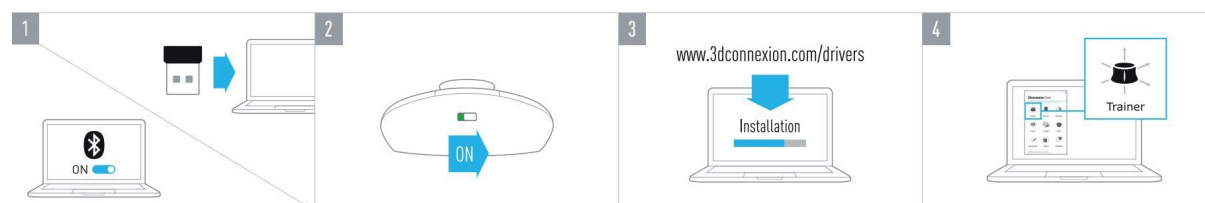
もう片方の手で通常のマウスを使用して選択、作成、編集を行います。

手の位置



図のように手を置きます。パームレストに手を置いてコントローラーキャップをつかみ、正確で無理のないコントロールのための理想的な姿勢を保ちます。

設定



1. USBレシーバーを接続する

付属の 3Dconnexion ユニバーサルレシーバーをパソコンに接続します。

2. SpaceMouse Pro Wirelessをオンにする

SpaceMouse Pro Wireless の背面にある電源スイッチをオンにします。

3. 最新の3Dconnexionソフトウェアをダウンロードしてインストールする

3Dconnexion の「3DxWare」というソフトウェアの最新バージョンがインストールされているか確認してください。最新バージョンは、3dconnexion.com/jp/drivers/ からダウンロードできます。

4. SpaceMouse Pro Wirelessを習慣化する

3Dconnexion ホームを開き、トレーナーを起動し、SpaceMouse Pro Wireless の最初一歩を実行するためのヘルプが表示されます。

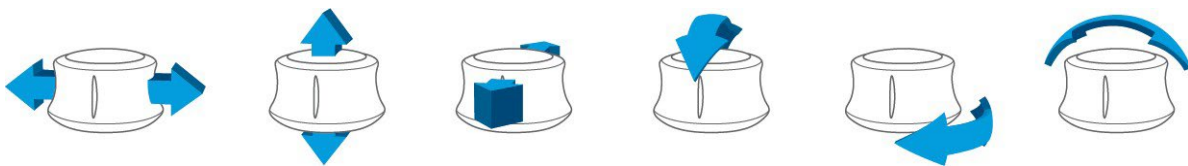
機能ガイド

3Dconnexion SpaceMouse Pro Wireless



コントローラーキャップ

コントローラーキャップは、SpaceMouse Pro Wireless の要ともいえる部分です。その 6DoF（6 自由度）センサーにより、描画や 3D モデルを押す、引く、傾ける、パン、ズーム、回転させることができます。SpaceMouse は、使用しているアプリケーションに応じて異なるモーションプロファイルを持っています。オブジェクトモードのアプリケーションでは、3D ナビゲーションが、画面の中に手を伸ばしてオブジェクトを直接動かしているかのように動きます。フライモードのアプリケーションでは、まるであなたが飛行カメラを見ているかのような感覚になります。多くのアプリケーションでは、この動作を SpaceMouse Pro Wireless の詳細設定で調整できます。



メニューボタン (Menu)

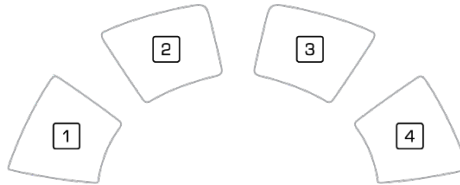
メニューボタンを押すと、3Dconnexion デバイスを素早く簡単にカスタマイズできます。これを押すと、直接 3Dconnexion 設定が起動します。フライアウトウィンドウで構成したいデバイスを選択し、カスタマイズします。

フィットボタン (Fit)

フィットボタンを使用すると、図面または 3D モデルを見失うことはありません。フィットボタンを押すことにより、図面またはモデルが画面の中央に戻ります。

3Dconnexion ボタン

SpaceMouse Pro Wireless には、コントローラーキャップの上に配置された 4 つの追加のプログラム可能なファンクションボタンがあります。このボタンは、あなたが使用しているアプリケーションとその環境を即座に認識し、最も使用頻度の高いコマンドを自動的にボタンに割り当てます。3Dconnexion 設定、ファンクションボタンに割り当てられたコマンドをカスタマイズすることができます。



オンスクリーンディスプレイ

SpaceMouse Pro Wireless には、3Dconnexion ボタンの現在の割り当てを表示するオンスクリーンディスプレイ（OSD）が用意されています。

SpaceMouse Pro Wireless の OSD を表示するには、いずれかの 3Dconnexion ボタンを押し続けます。ボタンを押し続けている間、OSD が表示されます。この機能は、3Dconnexion 設定で無効にすることもできます。



キーボードモディファイア

SpaceMouse Pro Wireless には、キーボードモディファイアが 4 つ付属しており、キーボード上の対応するキーのように機能します。3Dconnexion 設定を使用することで、キーボードモディファイアに割り当てられたコマンドをカスタマイズすることができます。

QuickView ボタン

SpaceMouse Pro Wireless には、図面や 3D モデルを素早く所望のビューに移動するのに役立つ 4 つの QuickView ボタンが備わっています。3Dconnexion 設定でボタンの割り当てを変更するオプションが利用可能です。

回転トグルボタン

4 つ配置されている QuickView ボタンの中央に、回転トグルボタンがあります。これを 1 回押すと、すべての回転軸の回転がロックされます。

SpaceMouse Pro Wireless への接続

SpaceMouse Pro Wireless は、3Dconnexion Universal Receiver Pro Bluetooth、または USB ケーブルを経由して接続することができます。



注意：SpaceMouse Pro Wireless は工場では Universal Receiver とペアリングされているため、Bluetooth または Keyboard Pro とペアリングする前に、まずコンピューターから Universal Receiver を取り外す必要があります。

Pairing via Bluetooth / Bluetooth によるペアリング：

デバイスの電源を入れ、青い点滅が始まることを確認してください。次に、PC の Bluetooth 設定を開き、Bluetooth が有効になっていることを確認し、[Add device / デバイスの追加]をクリックし、[Bluetooth]を選択し、リストから SpaceMouse デバイスを選択します。

3Dconnexion Keyboard Pro によるペアリング（日本国内では Keyboard Pro は販売されていません）：

Windows のスタートメニューにアクセスし、3Dconnexion ペアリングツールを起動します。次に、[Add device / デバイスの追加]を押し、3Dconnexion ペアリングツールの指示に従って、SpaceMouse Pro Wireless を Keyboard Pro に接続します。

SpaceMouse Pro Wireless の充電

SpaceMouse Pro Wireless のステータス LED が赤く点滅すると、バッテリー残量が 10% 未満となり、充電する必要があります。付属の USB ケーブルを使用して SpaceMouse をコンピューターの充電ポートに接続します。SpaceMouse Pro Wireless の充電中、ステータス LED は緑色で点滅し、充電が完了すると LED は緑色に点灯します。

ステータス LED

SpaceMouse Pro Wireless は、バッテリーの状態と接続状態を表示する LED を備えています。

■ バッテリーの状態：

デバイスをオンにした直後またはスリープからの復帰後、LED は現在の充電レベルを表示します。

- 緑 SpaceMouse Pro Wireless は十分に充電されています。
- 赤 SpaceMouse Pro Wireless の充電が 10% 未満であり、充電が必要です。

■ ペアリング及び接続の状態：

バッテリーステータスが表示された後、デバイスは現在の接続とペアリングモードを表示します。

- | | |
|---------|----------------------------------|
| - 白（点灯） | 3Dconnexion ワイヤレスモードで正常に接続されました。 |
| - 白（点滅） | 3Dconnexion ワイヤレス接続の準備ができています。 |
| - 青（点灯） | Bluetooth モードで正常に接続されました。 |
| - 青（点滅） | Bluetooth 接続の準備ができています。 |

デバイスが正常に接続された後、LED は消灯します。

LED リング

SpaceMouse Pro Wireless の LED リングは、接続ステータスに関する更なる情報を提供します。

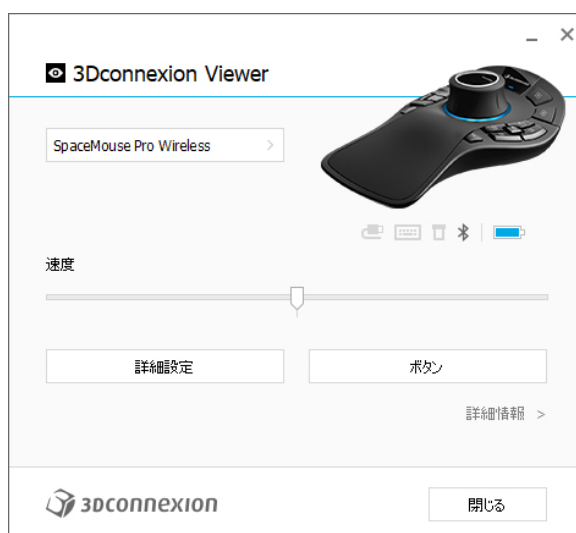
- 点灯後に暗くなる：SpaceMouse Pro Wireless が正常にペアリングされました。

3Dconnexion 設定



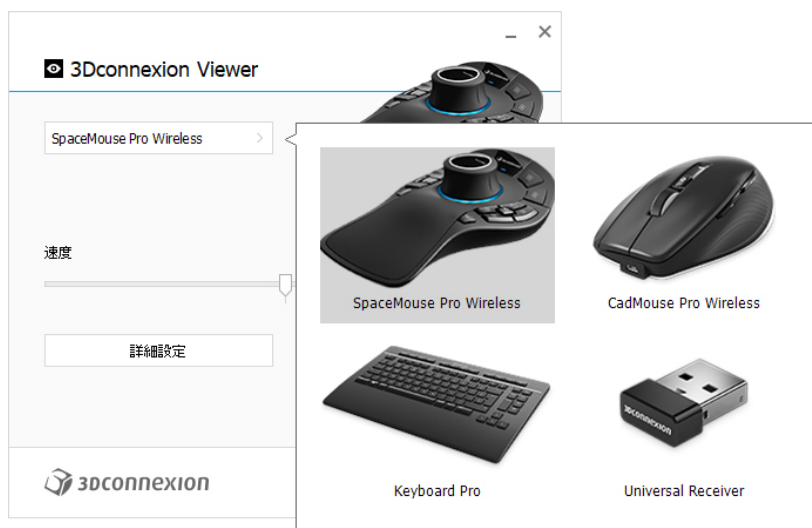
3Dconnexion Settings パネルには、SpaceMouse Pro Wireless 上のメニューボタン、デスクトップ上の 3Dconnexion Home、通知エリア（システムトレイ）のアイコン、または Windows のスタートメニューからアクセスできます。

パネルの上部には、アクティブなアプリケーションの名前が表示されます。設定の変更はアクティブなアプリケーションにのみ反映されます。製品イメージの下には、現在の接続モードとバッテリーレベルがアイコンで表示されます。



スピード

このスライダーは、デバイス全体の速度を設定します。ここでは、オブジェクト、シーン、または画像の移動するのに必要な SpaceMouse のキャップへの力やトルクの大きさを変更できます。



複数の 3Dconnexion デバイスが接続されている場合、パネルの左上にあるフライアウトボタンをクリックすることで、設定を行いたい製品を選択できます。

詳細設定

詳細設定パネルで設定できる内容は、アプリケーションごとに異なります。したがって、各アプリケーションでのお好みに合わせて SpaceMouse を簡単に設定できます。



ナビゲーション

パン/ズーム: パーツ、アセンブリ、または図面のパンを有効または無効にします。デフォルトで有効です。

ローテーション: パーツ、アセンブリ、または図面の回転を有効または無効にします。デフォルトで有効です。

ドミナント: 優先フィルタ軸をオンまたはオフにして有効にすると、パン、ズーム、または回転が単一の軸に制限されます。

ズームの方向

前/後: デスクに平行にキャップを自分の方へ引いたり押し下たりして、ズームします。

上/下: モニター画面に平行に、キャップを天井方向に引き上げたり床方向押し下たりして、ズームします。

速度

スライダーを調節することで、6 自由軸の各方向の速度を個別に設定することができます。動きの方向を反転させるには、その動きに対応する「反転」ボックスにチェックを入れます。

追加詳細設定

一部のアプリケーションには追加の SpaceMouse 設定があります。これらのアプリケーションに対しては、詳細設定パネルに追加のオプションの利用が可能です。



ナビゲーションモード

オブジェクトモード はオブジェクトモードのナビゲーションを有効にします。このモードでは画面内に手を伸ばしてモデルを手を持つような感覚で操作できます。SpaceMouse のキャップを左に押すと、モデルが左に移動し、右に押すと、モデルが右に移動します。

フライモード は、コントローラーキャップを使うことで、飛行カメラのように使用することが可能になります。画面内に押し込むと、カメラが前進し、左に押すとカメラが左に移動（画面は右に移動）します。上に持ち上げると、カメラが上昇し（画面は下に移動）、画面内を飛び回るかのようなシーンに入ることができます。

ターゲットカメラモード は、ターゲットカメラモードのナビゲーションを有効にします。SpaceMouse のキャップを押し込むとカメラがシーン内に前進し、左に押すとカメラが左に移動（画面は右に移動）します。上に持ち上げると、カメラが上昇し（画面は下に移動）、キャップを回転させると、ターゲットポイントを中心に回転します（下記の“回転中心”を参照）。

ドローンモード は、フライモードのナビゲーションを有効にすると、下を向いたままキャップを前に押すことでカメラの高度を一定に保ちます。

水平線ロック は、水平線を現在の水平位置に保つよう強制します。



回転中心

自動 は回転の中心が自動的に変わるように設定します。モデル全体が表示されている場合、全体のモデルの中心が回転ポイントとして使用されます。近づいていくと、回転の中心は画面の中心に近いオブジェクトに設定されます。

選択したアイテムを使用 は、回転の中心を現在選択されているオブジェクトへ強制的に固定します。

常に表示 は回転の中心を常に表示します。

動作時に表示 すると、動かしている間のみ回転の中心が表示されます。

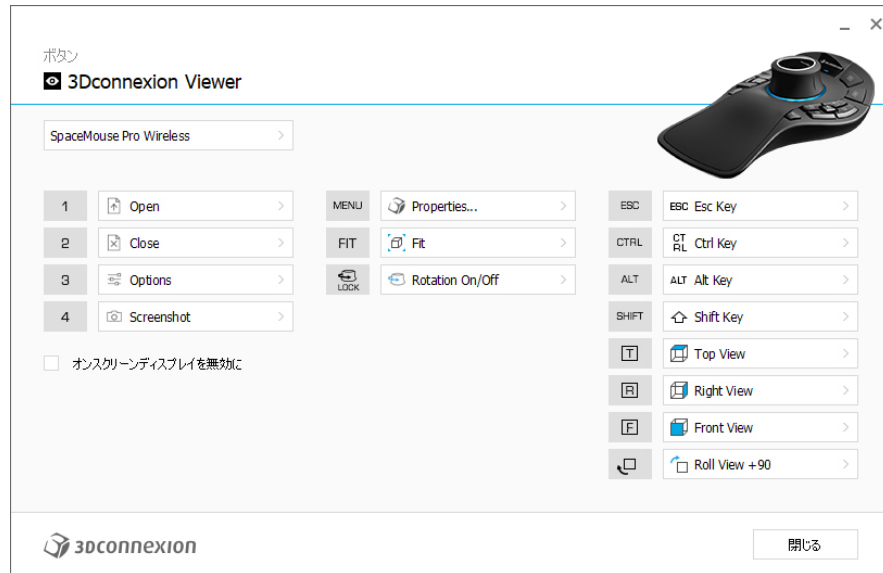
非表示 にすると、回転の中心の表示が無効になります。

その他オプション

以下のアプリケーションには特別なオプションがあります Autodesk 3ds Max、Autodesk Maya、Solid Edge、SOLIDWORKS。詳細情報は、[3Dconnexion の FAQ](#) に記載されています。

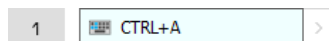
ボタン

3Dconnexion Settings 内のボタンパネルを使用すると、コマンド、マクロ、またはラジアルメニューを割り当てることができます。パネルの上部にはアクティブなアプリケーションの名前が表示されます。設定の変更はこのアクティブなアプリケーションにのみ適用されます。3Dconnexion ボタンを押し続けると、OSD に現在のアプリケーションのボタン割り当てが表示されます。この機能を無効にするには、「オンスクリーンディスプレイを無効に」へチェックを入れます。



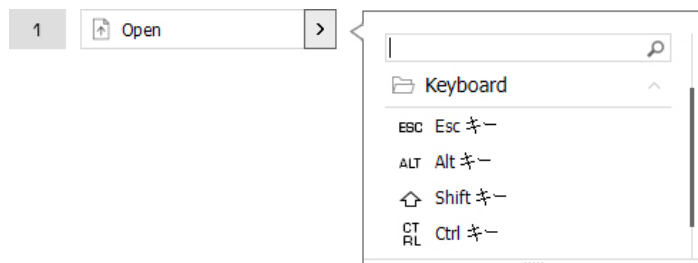
環境感度に関する注意：一部のアプリケーションには、アプリケーションのモードに依存したなキーマッピングがあります。これらのアプリケーションでは、現在のアクティブな環境に応じて異なるキー割り当てが可能です。

ボタンへのクイックマクロの割り当て



入力フィールドのテキストをクリックし、必要なキーまたはキーの組み合わせを押すことで、キーストロークやマクロを簡単に割り当てることができます。

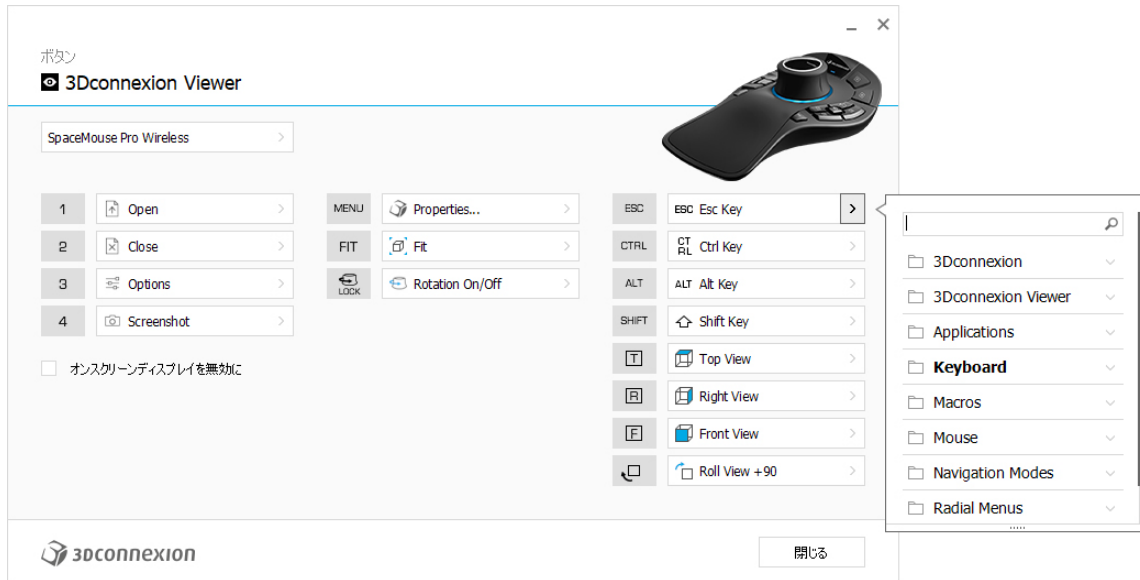
マクロを作成すると、キーを一度押す（直ぐに離す）コマンドが常送信されます。代わりに押し続けるコマンドを割り当てたい場合（例：Ctrl または Shift）、フライアウトウィンドウのキーボードコマンドカテゴリを使用する必要があります。



フライアウトウィンドウを使ったコマンドの割り当て

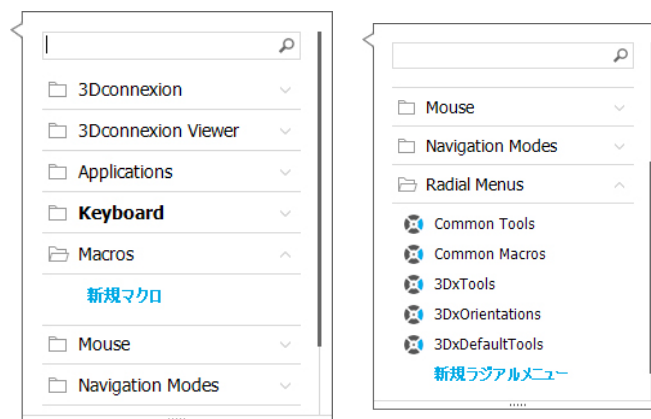
ボタンフィールドの右側にある>矢印をクリックすると、その SpaceMouse ボタン用のフライアウトウィンドウが開きます。

フライアウトウィンドウを使用すると、さまざまなカテゴリのコマンドを閲覧または検索できます。コマンドを選択してクリックすると、それが対応する SpaceMouse ボタンに自動的に割り当てられます。現在割り当てられているコマンドのカテゴリは太字で表示されます。



マクロ及びラジアルメニューの作成

新しいマクロまたはラジアルメニューを作成するには、まずキーフィールドの右側の>矢印をクリックし、次にマクロ又はラジアルメニューカテゴリを展開し、新しいマクロ又は新しいラジアルメニューをクリックします。



マクロ及びラジアルメニューへのアイコンの割り当て

最初のステップでは、マクロまたはラジアルメニューに名前を付け、アイコンを割り当てるように求められます。

アイコンギャラリータブで提供されているアイコンのうちの1つを使用するか、カスタムアイコンタブで独自のアイコンをアップロードするかを選択できます。



注意: アイコンに使用する画像は 500 x 500 ピクセル以下でかつ、次のファイル形式のいずれかである必要があります: SVG、ICO、PNG、GIF、BMP、TIFF、EXIF、WMF、EMF。最適な表示結果を得るためには、透明な背景を持つ 24 x 24 ピクセルの画像をお勧めします。

マクロの作成

一連のマクロを作成する際、「ステップの追加」で実行内容を選択することによりマクロシーケンスを編集することができます。



このシーケンス内で、「コマンド」ステップにキーボードショートカットを割り当てることができ、また、アプリケーションコマンドを割り当てるためにフライングウィンドウを使用することもできます。「テキスト」ステップでは、マクロにテキストブロックを追加できます。「ディレイ」ステップは、アプリケーションの読み込み時間が長い場合に対処するためのものです。

マクロのシーケンスは、単一のステップを適切な順序にドラッグしたり、不要なステップを削除したりして編集できます。マクロの編集が完了したら、次回以降開くパネルのボタンに新しいマクロを自動的に割り当てることができるよう保存をクリックします。

ラジアルメニューの作成

新しいラジアルメニューを作成する際、まずは 4 つのセクション又は 8 つのセクションのレイアウトのいずれかを選択できます。異なるセクションにコマンドやマクロを割り当て、ラジアルメニューを保存します。新しいラジアルメニューは、次回以降開くパネルのボタンに自動的に割り当てられます。



ラジアルメニューエディタ

3Dconnexion Viewer

ラジアルメニュー名

ラジアルメニューの名前を入力します

レイアウト

☒ 4分割

☐ 8分割

ラジアルメニューの設定

1 2 3 4

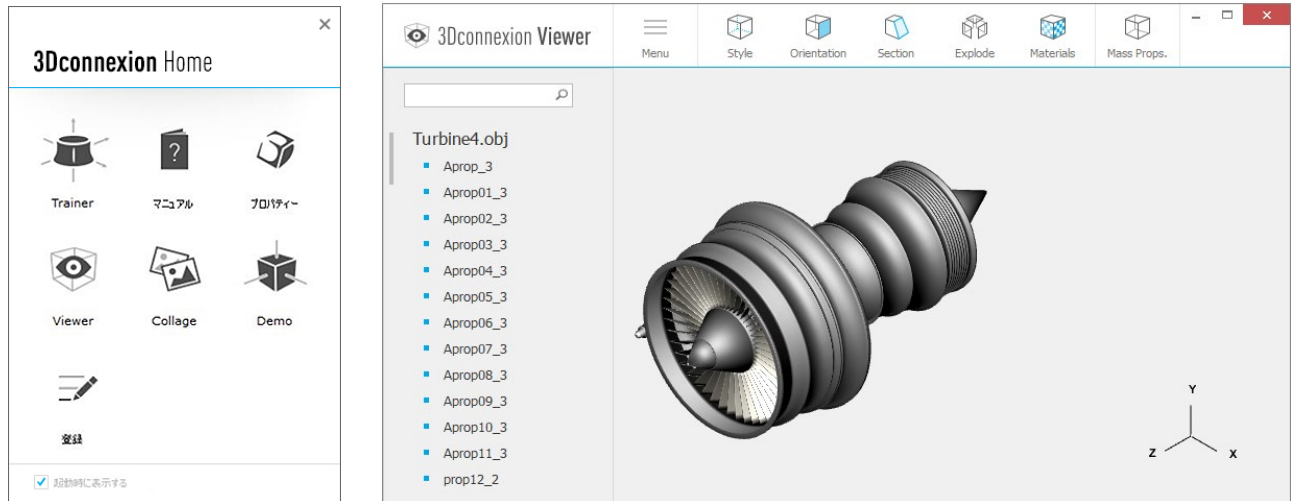
1 2 3 4

保存 キャンセル

3Dconnexion Home



最新の 3Dconnexion ドライバーを正常にインストールすることにより、3Dconnexion Home から様々な 3Dconnexion アプリにアクセスできます。



Trainer:

3Dconnexion SpaceMouse を迅速に使用方法を学びましょう。



マニュアル:

こちらからは、すべての 3Dconnexion 製品のマニュアルを読むことができます。



設定:

設定パネルを開いて、3Dconnexion デバイスをカスタマイズできます。



Viewer:

3Dconnexion Viewer を使用して 3D モデルを確認してください。

サポートされているフォーマット (.stp, .step, .igs, .iges, .obj, .stl, .ply, .jt, .glTF)



Demo:

飛行機のランディングギア (着陸装置) を組み立てて、スキルをテストし、練習してみてください。



Registration / 製品登録:

インストール後に[製品登録](#)して、3Dconnexion のサービスをお役立てください。



動画:

3Dconnexion デバイスのトレーニング[動画](#)を見る。



フィードバック:

3Dconnexion の製品開発チームにフィードバックをする。

技術仕様

寸法及び重さ

長さ: 204 mm / 8" (インチ)

幅: 142 mm / 5.6" (インチ)

高さ: 58 mm / 2.3" (インチ)

重さ: 549 g / 1.21 lb (ポンド) / 19.37 oz (オンス)

バッテリー - 3Dconnexion SpaceMouse Pro Wireless

再充電可能なリチウムポリマーバッテリー、容量 1,100 mAh

サポートされているオペレーティングシステム

Microsoft Windows、macOS

[OSに関する詳細情報](#)

サポートされているソフトウェア

[サポートに関する詳細情報](#)

同梱されている製品

- 3Dconnexion SpaceMouse Pro Wireless Bluetooth Edition
- Carry case キャリーケース
- 3Dconnexion Universal Receiver
- 3Dconnexion Cable USB-A / USB-C (1.5m)

製品番号

パッケージ単位番号 (パッケージに記載): 3DX-700119

部品番号 (デバイス上に記載): 3DX-600070

安全、コンプライアンスおよび保証情報

製造者

3Dconnexion GmbH

Clarita-Bernhard-Straße 18, 81249 Munich Germany

認証及び登録

CE, UKCA, EAC, FCC, IC, MIC, KC, RCM, BSMI, NCC, WEEE, RoHS-EU, RoHS-CN

[認証及び登録に関する詳細情報](#)

保証

製品本体に限り3年間保証

無線周波数情報

周波数帯 : 2404 - 2477 MHz、最大電波強度 : 0 dBm

バッテリー警告

[バッテリーに関する詳細情報](#)